

ボールトラッキングシステムによる撮影の実施について

現在、日本テニス協会、関西テニス協会では、大学と協力してテニス選手の A)過去のけがや病気、当日の体調、B)試合中の心拍など生体情報、C)試合中の選手のパフォーマンスを計測・解析することで、けがや病気の発生を予測し、予防することを目指した研究を進めています。本大会では1番コートの試合で、観客席上段に設置した2台のビデオカメラでコート全体を撮影しています。(図1)。



図1：2台のカメラによる撮影

撮影映像を解析することで、打球の軌跡、スピードや打点位置、打点位置から推定される選手の移動軌跡などがわかり、選手の競技力向上やスポーツ障害の予防に役立つ科学的知見を得ることを目的として研究を実施しています(図2)。できるだけ試合に影響ないように、また、個人情報保護して研究を行っています。

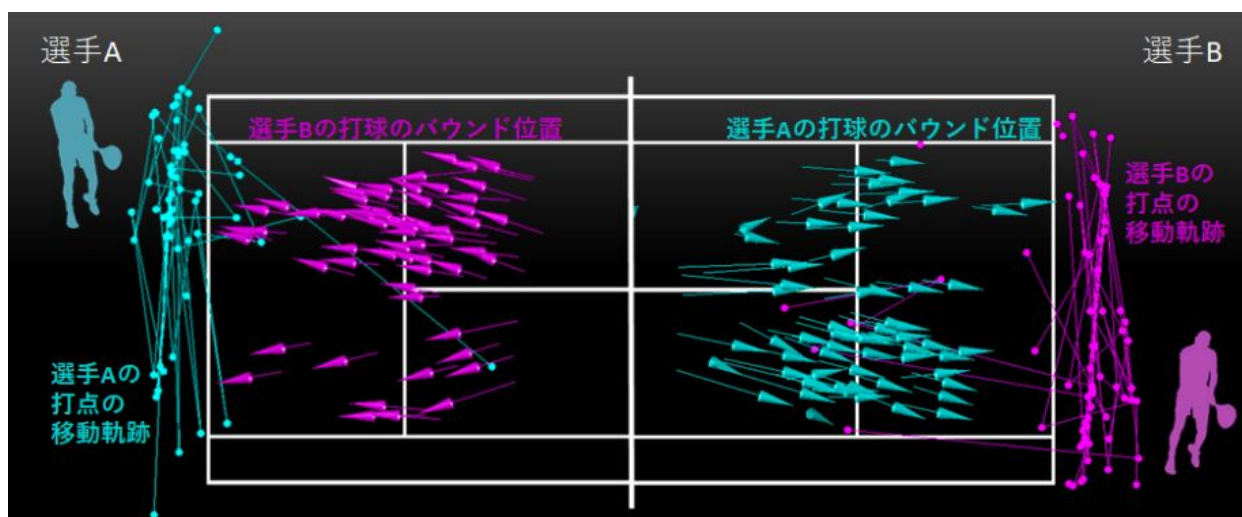


図2：ボールトラッキングの解析例

本研究は、大阪大学の倫理審査委員会の承認を受けて実施されています。1番コートで試合をする選手には、選手本人(16歳未満は、選手本人と保護者または代理人として帯同コーチ)にご説明させていただきますので、ご質問、ご意見などありましたらその際にお尋ねください。

皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。